



2022年12月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年5月13日

上場会社名 CDS株式会社

上場取引所 東名

コード番号 2169 URL <https://www.cds-japan.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 芝崎 雄太

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経理・財務部長 (氏名) 中嶋 國雄

TEL 052-587-5437

四半期報告書提出予定日 2022年5月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年12月期第1四半期の連結業績(2022年1月1日～2022年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年12月期第1四半期	2,744	38.2	580	153.4	582	78.5	392	74.6
2021年12月期第1四半期	1,985	12.2	229	28.6	326	10.8	224	21.1

(注) 包括利益 2022年12月期第1四半期 394百万円 (70.5%) 2021年12月期第1四半期 231百万円 (32.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年12月期第1四半期	57.55	
2021年12月期第1四半期	32.95	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年12月期第1四半期	9,988	7,264	72.7	1,065.08
2021年12月期	9,398	7,080	75.3	1,038.22

(参考) 自己資本 2022年12月期第1四半期 7,264百万円 2021年12月期 7,080百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年12月期		25.00		31.00	56.00
2022年12月期					
2022年12月期(予想)		28.00		28.00	56.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年12月期の連結業績予想(2022年1月1日～2022年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,550	23.2	677	98.6	675	31.4	446	28.8	65.45
通期	8,902	6.3	1,325	26.7	1,320	4.4	872	5.3	127.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年12月期1Q	6,924,400 株	2021年12月期	6,924,400 株
期末自己株式数	2022年12月期1Q	104,227 株	2021年12月期	104,214 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年12月期1Q	6,820,182 株	2021年12月期1Q	6,820,224 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新たな変異株による新型コロナウイルス感染症の再拡大を受けて、全国各地でまん延防止等重点措置が発令され、また製造業においては半導体不足によって生産調整を余儀なくされるなど厳しい状況にありました。さらに、ウクライナ情勢の緊迫化、原油価格および原材料価格の上昇などの懸念材料から先行きの不透明な状況が続いております。

このような環境のもと、当社グループでは前連結会計年度から引き続きテレワークの実施や社内でのソーシャル・ディスタンスの確保、TV会議の活用といった感染防止策を講じつつ事業活動を行ってまいりました。

当社グループはドキュメンテーション事業、エンジニアリング事業、技術システム事業の3つの事業を展開し、自動車から各種情報家電、産業機器、FA機器、医療機器、教育関連、物流、食品、水産業、農業、観光、出版など幅広い業界に向けてサービスの提供をしており、グループ各社の特色を組み合わせることで相互に補完し、取引先企業における製品開発から試験・解析・開発・販売・保守やアフターサービスまでのビジネスプロセスへのサポートを実現可能とする「技術情報統合マネジメント企業」を目指しております。

当第1四半期連結累計期間の業績におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響が前年同期と比較して軽微であったことから、増収増益となりました。

具体的な当第1四半期連結累計期間の業績は次のとおりであります。

売上高	2,744百万円	(前年同期比38.2%増)
営業利益	580百万円	(前年同期比153.4%増)
経常利益	582百万円	(前年同期比78.5%増)
親会社株主に帰属する四半期純利益	392百万円	(前年同期比74.6%増)

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。(各セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高又は振替高を含みます。)

(ドキュメンテーション事業)

売上高は774百万円(前年同期比1.5%増)と、前年同期に対して微増にとどまりましたが、稼働率が改善されたことにより作業効率が向上したため、営業利益は236百万円(前年同期比8.7%増)の増収増益となりました。

(エンジニアリング事業)

前連結会計年度の第4四半期から引き続いて教育関連の受注が好調だったことから、売上高は832百万円(前年同期比136.7%増)、営業利益は278百万円(前年同期比264.3%増)の増収増益となりました。

(技術システム事業)

前連結会計年度は、取引先企業においてコロナ禍による先行き不透明感から投資が抑制されておりましたが、その抑制が緩和されてきたことなどから、システム更新、インフラ構築等の新規案件が増加し、売上高は1,156百万円(前年同期比32.0%増)、営業利益は217百万円(前年同期比156.1%増)の増収増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は9,988百万円であり、前連結会計年度末より589百万円増加しております。内訳としては、流動資産は547百万円増加の6,621百万円、固定資産は42百万円増加の3,366百万円であります。

流動資産の変動の主な要因は、現金及び預金で120百万円、受取手形、売掛金及び契約資産で373百万円、仕掛品で116百万円の増加があった一方、電子記録債権で72百万円の減少があったこと等であります。また、固定資産の変動の主なものは、投資その他の資産が68百万円(主に繰延税金資産)増加した一方で、有形固定資産が18百万円(主に建物及び構築物)減少したこと等であります。

(負債)

負債は前連結会計年度末より406百万円増加し、2,724百万円となりました。内訳は流動負債が406百万円増加の2,712百万円、固定負債が0百万円増加の12百万円であり、流動負債の変動の主なものは、支払手形及び買掛金が316百万円、賞与引当金が232百万円増加している一方で、未払金が113百万円、未払法人税等が38百万円減少していること等であります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産は7,264百万円であり、前連結会計年度末より183百万円増加しております。その要因は、主に利益剰余金が181百万円増加したためであり、これは親会社株主に帰属する四半期純利益392百万円の計上と配当金支払211百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今般の新型コロナウイルス感染症の流行による影響が不透明であることから、2022年2月14日に公表いたしました連結業績予想を変更しておりませんが、当該感染症の流行が当社グループの業績に及ぼす影響については、今後も注視してまいります。業績予想の修正が生じた場合には速やかに公表いたします。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,540,641	2,661,620
受取手形及び売掛金	2,683,412	—
受取手形、売掛金及び契約資産	—	3,056,698
電子記録債権	281,077	208,424
商品及び製品	51,011	74,876
仕掛品	265,715	381,998
原材料及び貯蔵品	13,395	11,932
その他	243,323	230,657
貸倒引当金	△4,378	△4,442
流動資産合計	6,074,199	6,621,765
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,608,828	1,588,887
土地	945,794	945,794
その他(純額)	130,822	132,325
有形固定資産合計	2,685,444	2,667,007
無形固定資産		
のれん	133,237	125,834
その他	68,309	67,457
無形固定資産合計	201,546	193,292
投資その他の資産		
その他	440,655	509,501
貸倒引当金	△2,850	△2,850
投資その他の資産合計	437,805	506,651
固定資産合計	3,324,797	3,366,951
資産合計	9,398,997	9,988,716
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	281,669	598,484
短期借入金	750,000	720,000
未払金	348,205	234,907
未払法人税等	273,661	234,947
未払消費税等	117,331	190,265
賞与引当金	164,706	396,793
受注損失引当金	265	15
製品保証引当金	10,527	9,913
その他	359,578	326,788
流動負債合計	2,305,945	2,712,117
固定負債		
退職給付に係る負債	7,721	8,103
資産除去債務	4,443	4,443
固定負債合計	12,165	12,547
負債合計	2,318,110	2,724,664

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	940,327	940,327
資本剰余金	1,171,768	1,171,768
利益剰余金	4,996,795	5,177,911
自己株式	△25,685	△25,706
株主資本合計	7,083,205	7,264,300
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△4,933	△3,619
為替換算調整勘定	2,615	3,370
その他の包括利益累計額合計	△2,318	△248
純資産合計	7,080,886	7,264,052
負債純資産合計	9,398,997	9,988,716

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)
売上高	1,985,526	2,744,392
売上原価	1,370,200	1,765,895
売上総利益	615,325	978,496
販売費及び一般管理費	386,256	398,126
営業利益	229,069	580,369
営業外収益		
受取利息	8	11
為替差益	11	849
確定拠出年金返還金	313	—
売電収入	414	486
助成金収入	99,186	3,478
その他	1,142	1,338
営業外収益合計	101,076	6,163
営業外費用		
支払利息	594	978
支払融資手数料	2,692	2,692
その他	616	611
営業外費用合計	3,903	4,282
経常利益	326,243	582,250
特別利益		
固定資産売却益	6,606	—
特別利益合計	6,606	—
特別損失		
固定資産除却損	1,777	0
特別損失合計	1,777	0
税金等調整前四半期純利益	331,072	582,250
法人税、住民税及び事業税	161,724	258,390
法人税等調整額	△55,425	△68,681
法人税等合計	106,299	189,709
四半期純利益	224,772	392,541
親会社株主に帰属する四半期純利益	224,772	392,541

(四半期連結包括利益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)
四半期純利益	224,772	392,541
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,506	1,314
為替換算調整勘定	108	755
その他の包括利益合計	6,615	2,070
四半期包括利益	231,388	394,611
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	231,388	394,611
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症に関する会計上の見積りの仮定)

前連結会計年度の2021年12月期決算短信の(重要な会計上の見積り)に記載した新型コロナウイルス感染症に関する会計上の見積りの仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2021年1月1日至2021年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	ドキュメン テーション 事業	エンジニア リング事業	技術システ ム事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	762,912	351,555	871,058	1,985,526	—	1,985,526
セグメント間の内部売上高又は 振替高	375	—	4,659	5,034	(5,034)	—
計	763,288	351,555	875,717	1,990,560	(5,034)	1,985,526
セグメント利益	217,829	76,470	84,826	379,127	(150,057)	229,069

(注) 1. セグメント利益調整額△150,057千円には、セグメント間取引消去3,723千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△153,780千円が含まれております。全社費用は、主にセグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第1四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益の認識はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2022年1月1日至2022年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	ドキュメン テーション 事業	エンジニア リング事業	技術システ ム事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	774,550	832,245	1,137,596	2,744,392	—	2,744,392
セグメント間の内部売上高又は 振替高	153	—	18,742	18,896	(18,896)	—
計	774,704	832,245	1,156,338	2,763,288	(18,896)	2,744,392
セグメント利益	236,744	278,600	217,213	732,558	(152,188)	580,369

(注) 1. セグメント利益調整額△152,188千円には、セグメント間取引消去2,311千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△154,499千円が含まれております。全社費用は、主にセグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第1四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益の認識はありません。